

那覇市立教育研究所

研究所だより


 那覇市金城3-5-3
 所長 田中 浩三

標準学力調査結果説明会

今年度から経年比較ができるようにと中1、2学年で実施した標準学力調査。先日行った結果説明会には、お忙しい中多くの先生方のご参加を頂き感謝しています。ありがとうございました。結果から見えてくる課題をふまえ、今後の子どもたちの学習支援にお役立てください。

家庭学習の進め方

所長 田中 浩三

家庭学習を効果的に進めることは、学力向上にも大きく影響を及ぼします。家庭学習は、「家庭との連携・協力」や「効果的な進め方」を十分に考慮して進める必要があります。まず、「家庭との連携・協力」の一つに「なぜ家庭学習をするのか」を保護者にしつかり説明する必要があります。前任校での保護者説明会で話したことの一部を紹介します。

私たち人間は覚えた事をすぐに忘れてしまいます。ドイツの心理学者エビングハウスの実験によると（グラフ提示説明）ある学習の記憶は一週間後では五六％、一日後は七四％、一週間後七六％を忘れてしまします。これからわかるように覚えたことの大半は一日で忘れられます。そこで大切なことは繰り返し復習し思い出すことです。特に忘却率の低いその日の内の復習が効果的です。学校でも復習しますが、家庭でも充分時間をかけて復習させてほしいものです。

次に、家庭学習の「効果的な進め方」ではやはり教師の指導の工夫が必要です。特に前述の忘却率との関連を考えると「授業と連携した家庭学習」をさせることが効果的です。例えば、算数・数学の計算等、基礎問題では授業の復習として類似問題を家庭でも進められます。ところが、活用する問題（文章題等）は類似問題を出しても家庭で進めることができない場合もあります。そのときは、授業で習ったことをノートに写し、復習させる方法も授業との連携の一つとして有効だと思えます。

学校においては「わかる授業」の工夫を進める中、「学習内容の定着を図る家庭学習の工夫もぜひ進めていく必要があります」。



96期 教育研究員「中間検討会1」終わる



国仲指導主事 5/25(水)仲盛、松川 6/6(月)大城、仲宗根

それぞれの研究員が、研究テーマと設定理由、研究仮説、研究内容及び項立てについて発表し、理論面での質疑応答、意見交換を行いました。



インストラクター派遣事業 曙小 2年生にて実施

6月22日(水)、曙小学校2年生全クラスを対象に、興洋電子の上地弘美氏を講師として招いて、キーボードとマウスの操作からカレンダー作りまでの3回にわたる授業を設定し、実施しました。



この「インストラクター派遣事業」は、各小中学校の児童生徒向けの授業としても活用できます。

「授業づくり講座」ハワイ!笑顔で遊ぼうじゃんけんぽん

6/17(金)、真和志庁舎3Fホールで、浦添市立宮城小学校校長銘苅健氏を講師として招聘し「授業づくり講座」が行われました。小中学校合わせて62名の先生方が参加して「学級経営と学級レクリエーション」について、体を動かしながら学び、サ「タイトルにあるように笑顔でじゃんけんぽんゲームを楽しみました。



<感想>「初対面の人たちとこんなに楽しめるなんて!」少し緊張していましたが、ペアづくりも楽しく多くの人たちとコミュニケーションがとれてよい研修でした。

「教育法規講座」知っておきたい教育法規



新里益弘氏

6/15(水)、研究所大会議室において、元那覇市立天妃小学校校長新里益弘氏を講師に「教育法規講座」が行われました。小中学校合わせて32名の参加がありました。



<感想>

具体的な事例を交えて講義をして下さったのでとても分かりやすかったです。法の体系的なもの、憲法 - 教育基本法 - 学校教育法 - 施行令 - 施行規則などがはっきり分かり有り難かったです。

平成23年度 標準学力調査結果説明会

6月24日(金)に、那覇市立教育研究所1F多目的ホールで標準学力調査結果説明会が行われました。

教育相談や夏休み前の三者面談、懇談会等で、活用して頂けるように、結果説明会では生徒の個人別帳票も配付致しました。

分析結果は、教科、学級、学年、学校全体で活用して、対策を講じていただければと思います。

中学校1学年・2学年の国語・数学担当の先生方が参加しました。

